

【山崎主宰の俳句】

なるべくならば

山崎 聰

おぼろ夜の人体模型地震のあと
なるべくならば五六人花の昼
帽子かぶればともかく詩人花杏
鳥帰るたましい遊びながら帰る
見えるはずなき影見ゆる春の夕暮
関東のいちばんはずれから驟雨
旅人は総門を出てライラック
みちのくは熱いかたまり罌粟坊主
雷鳥のやさしきまなこかの日以降
老人に戦前戦後草かげろう